

後期高齢者医療広域連合の収支状況 =速報ベース=

科 目		平成20年度 (実績)	平成21年度 (見込)	対前年度増減額	対前年度比
収 入	保 険 料	8,213	8,565	352	104.3
	保 険 基 盤 安 定 (保 険 料 軽 減 分)	1,779	1,915	136	107.6
	国 庫 支 出 金	31,283	36,362	5,080	116.2
	都 道 府 県 支 出 金	7,718	9,004	1,286	116.7
	市 町 村 負 担 金	7,666	8,773	1,107	114.4
	事 務 費 負 担 金	395	396	1	100.3
	後 期 高 齢 者 交 付 金	41,296	47,518	6,221	115.1
	特 別 高 額 医 療 費 共 同 事 業 交 付 金	7	16	8	209.9
	繰 入 金	272	715	442	262.5
	借 入 金	0	0	0	-
	そ の 他	36	93	58	261.6
	小 計	98,664	113,355	14,691	114.9
	高 齢 者 医 療 制 度 円 滑 運 営 臨 時 特 例 交 付 金	732	929	198	127.0
	そ の 他 繰 入 金	4	347	343	-
(前 年 度 か ら の) 繰 越 金	41	2,575	2,534	-	
収 入 合 計 (収 入 総 額)	99,441	117,207	17,766	117.9	
支 出	議 会 費 ・ 総 務 費 等	417	412	▲ 5	98.8
	保 険 給 付 費	95,008	110,403	15,395	116.2
	財 政 安 定 化 基 金 抛 出 金	89	89	0	99.5
	特 別 高 額 医 療 費 共 同 事 業 抛 出 金 ・ 事 務 費 抛 出 金	8	16	8	208.7
	保 健 事 業 費	133	158	25	118.6
	そ の 他	2	1,559	1,558	-
	小 計	95,657	112,636	16,980	117.8
	基 金 積 立 金	1,178	1,510	332	128.2
前 年 度 繰 上 充 用 (欠 損 補 填) 金	0	0	0	-	
公 債 費	0	0	0	-	
支 出 合 計 (支 出 総 額)	96,834	114,146	17,312	117.9	

収 支 差 引 額	収 支 差 引 合 計 額 (収入総額 - 支出総額)	2,607	3,061	454	-
	単 年 度 収 支 差 引 額 (経 常 収 支 差) (経常収入 - 経常支出) A	3,008	719	▲ 2,289	-
	前 年 度 国 庫 支 出 金 精 算 額 等 B	0	1,599	1,599	-
	当 年 度 国 庫 支 出 金 精 算 額 等 C	▲ 1,599	▲ 1,810	▲ 212	-
	精 算 後 単 年 度 収 支 差 引 額 A+B+C	1,409	508	▲ 901	-

基金残高	高 齢 者 医 療 制 度 円 滑 運 営 臨 時 特 例 基 金	826	1,054	228	127.6
	そ の 他 基 金	450	716	265	158.9

(注1) 端数の関係上、合計及び収支差がずれることがある。

(注2) 数値は、後期高齢者医療広域連合の一般会計と特別会計の合計額(会計間の繰入・繰出の重複控除後)である。

(注3) 「基金積立金」とは、高齢者医療制度円滑運営臨時特例基金及びその他の基金への積立金の合計額である。

(注4) 「前年度国庫支出金精算額等」とは、当該年度に行われた前年度の国庫負担等の精算額である。

(注5) 「当年度国庫支出金精算額等」とは、翌年度に行われる当該年度の国庫負担等の精算額である。

(出所) 厚生労働省保険局高齢者医療課調べ

実質的な収支差 (経常収支差)

年度	広域連合 総 数	実質的な 収支差引額	黒字広域連合			赤字広域連合		
			広域連合数	割合	黒字額	広域連合数	割合	赤字額
平成	広域連合数	億円	広域連合数	%	億円	広域連合数	%	億円
20・21	47	1,916	47	100.0	1,916	0	-	-
20	47	1,409	47	100.0	1,409	0	-	-
21	47	508	44	93.6	538	3	6.4	▲ 30

(注1) 端数の関係上、合計及び収支差がずれることがある。

(注2) 割合は、広域連合総数に対する割合である。

(注3) 平成21年度は速報値である。

(出所) 厚生労働省保険局高齢者医療課調べ